次世代の党・中山恭子代表あいさつ

　本日、「今こそ憲法改正を！　１万人大会」、このように力強く多くの皆様の参集の上で開催されますことを、心の底からうれしく思っています。日本の未来に明るさが見えた記念すべき日になるように考えております。

　私たちは、日本国憲法が独立国家の憲法ではないということを、しっかり認識する必要があると思います。この憲法に忠実にあろうとすればするほど、日本が独立国家としての体をなさなくなり、平和の維持すら危うくなってしまいます。

　情けない国になってしまったと思ったことは何度もございます。なぜでしょうか。突き詰めていけば、日本国憲法に行き着きます。日本は独立国家として、長い歴史と伝統を持つ、日本の心を大切にした、日本人自らの手による自主憲法を制定しなければなりません。

　多くの学者の方々が指摘していらっしゃいます通り、日本の歴史、伝統、文化を踏まえ、日本人の心、魂がこもった前文とすることがまず必要であると考えています。次世代の党は、今、私たちが重要なときを生きていると考え、これからの日本が５０年後、７０年後も、国際社会から信頼され尊敬される国家として存立するために、自主憲法の制定を目指してまいります。

　「美しい日本の憲法をつくる国民の会」がさらに活発に活動されることをお願い申し上げます。今日ご参集くださいました皆さまとともに手を携え、憲法改正の実現に向けて私どもも頑張ってまいります。どうぞいっしょに、日本の本来の憲法制定まで頑張ってまいりましょう。